



BE THE INSPIRATION

吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2018-2019



■創立 1980.6.12

事務所/〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020

URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場/新大阪江坂東急REIホテル 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06-6338-0109

例会日/毎月曜日 18:00~19:00 役員/会長:大藤辰弘 幹事:榎原一滋 会報委員長:山下靖行

4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

第1735回例会 令和元年6月17日

卓話

地区委員の活動報告

地区社会奉仕委員会 矢倉 昌子 委員

各奉仕委員会 一年間の総括

社会奉仕委員会 紙谷 幸弘 理事

クラブ奉仕委員会 阿部 吉秀 理事

職業奉仕委員会 橋本 幸治 理事

青少年奉仕委員会 本田 智教 理事

今週の歌

「R-O-T-A-R-Y」

前回内容

会長挨拶

大藤会長

皆さん今晚は、暑い日々がやってまいりました。先週は30度を超える日があり、少しだるい感じでした。来週からは、温度が下がるようですが、梅雨に入る季節到来です。皆様、お身体をご自愛くださいませ。

先週の同好会の総括から、今週より、委員長の一年間の総括が始まります。委員長ほか委員の方々のご努力有難うございます。総括、楽しみにしております。

さて、今日のトピックスに青年海外協力隊が、2010年に約4,000名いたのが、2018年では約2,000名とほぼ半減したと、JICAから発表されました。JICAでは、その現象の一因に、多種多様なボランティアができたというふうに言っております。ある20代の男性の言葉として、「国際協力にかかわりたければ青年海外協力隊でなくても、NGOもたくさんある。近年は、ビジネスとして国際協力をしている人も増え、情報発信も盛んだ」とか、「あらかじめ決められたルールにのことにあまり興味を抱けない。それであれば、ゼロからその国にいて自分でニーズを汲み取って団体を立ち上げる方がやりがいがあるのでは」という話をニュースしておりました。

この言葉を我々と比較してみました。ゼロから立ち上げたいということは、本当に立派な考えでしょう。しかし、立ち上げたものの何もできずに終わってしまっていることも事実です。そこに、規模の問題も出てくるでしょう。また、多種多様なボランティア活動があることで、選択肢が沢山あることもこのような考えがあるのだと思います。確かに、あらかじめ決められたルールにのることを嫌う若者は多いかもしれませんが、今ある事業を継続することも大切な役割の一つだと思います。現在、当クラブでは、タイ・ナコンパノムRCと共に、飲み水の支援を継続しております。以前では、コロボセントラルRCと共に行った職業訓練センターの建設等、継続していたことによる、大きな利点があることを声を大にして言いたいと思います。我々には我々しかできないボランティア活動を何時までも行い続け、後に続くロータリアンに受け継がれていくことを切に願います。

ゲスト紹介

親睦活動委員会 山下(幸)委員

東京足立ロータリークラブ 大久保 太陽 様

幹事報告

榎原幹事

◇6月結婚記念日のお花をお送りしています。

◇来週例会後に事務局で、新会員レクチャーを行いますので、出席予定者の方はご参集下さい。

ロータリー親睦活動月間

第1736回 例会予告 令和元年6月24日

卓話

一年間の総括

大藤 辰弘 会長

次年度活動方針

橋本 徹也 会長エレクト



地区委員の活動報告

ロータリー財団補助金小委員会 瀬川 昇 委員

地区ロータリー財団委員会に出向させて頂いております。活動報告ということでお時間を頂きましたので、簡単にお話させて頂きます。

毎月一回第3木曜日に行われる委員会では、補助金や各クラブの寄付金の進捗状況、報告書の提出状況などを確認したり、地区補助金審査会・グローバル奨学生選考会、補助金セミナーの打合せをしたりしています。

今年度は2月16日に財団補助金管理セミナーがYMCA会館で行われました。財団委員会では①ポリオプラス小委員会②資金推進小委員会③資金管理小委員会④補助金小委員会⑤奨学金小委員会と5つの小委員会に分かれていますので、各担当からの説明ということになっています。

「ロータリー財団のプログラムと寄付」のテーマでは、ロータリー財団の歴史、ポリオ撲滅活動について、などについての説明が行われました。

「財団補助金管理」のテーマでは、各クラブの補助金をもらう手続について申請の方法や報告の仕方、補助金の管理上の不備の事例などが説明されました。

クラブ補助金を補助金口座に入金せず。補助金口座が0になっていなかった。利子を計上し忘れ。領収書の但し書きが「寄付金」となっていた。実際の品名を記載。申請書にない費用が計上されていた。ロータリアンの経費も入ってしまっていた。

「グローバル補助金と地区補助金」のテーマでは、グローバル補助金と地区補助金の違いとそれぞれの説明が行われました。グローバル補助金は6重点分野における大規模で継続性のある奉仕活動でプロジェクト額が3万ドル以上のものです。地区補助金は地元や海外で小規模一年単位のものでプロジェクト額40万円以上となっています。

この補助金管理セミナーの開催により、新年度の補助金申請がスタートしました。その後、各クラブの補助金申請を経て、5月10日には地区補助金審査会が行われました。

出席報告 出席委員会 宮川委員

- 会員数 49名 出席会員数 36名
- 来客 1名 本日の出席率 80.00%
- 5月20日の出席率（メーキャップ含む）100%

研修情報・規定委員会 青木委員長

6月17日(月)例会終了後、事務局にて新会員レクチャーを開催します。ボックスに案内を入れています。

次年度会員増強委員会 家村次年度委員長

本日例会終了後、第1回会員拡大会議を開催します。出席対象の委員の皆様は宜しくお願いします。

次年度クラブ奉仕委員会 橋本(芳)次年度委員長

本日例会終了後、第1回クラブ奉仕委員会会議を開催します。出席対象のクラブ奉仕委員会の皆様は宜しくお願い致します。

次年度国際奉仕委員会 西村次年度委員長

本日より7月1日までナコンパナム訪問団の募集を始めます。日程は11月20日(水)から24日(日)早朝戻りですが、(1)お仕事で前後される方、(2)数日残ってゆっくりされたい方は、希望を参加表に明記してください。

また1か月前までキャンセルは無料ですのでよろしくをお願いします。

ニコニコ箱 高木副SAA

- 梶山会員 ライラの行事に3人参加させて頂き有難うございました。大変勉強になりました。
- 宮川会員 前回欠席のお詫。
- 西村会員 中間決算で増益、増配を発表することが出来ました。
- 仁科会員 前回の例会欠席のお詫び。

本日のニコニコ箱	19,000円
累計のニコニコ箱	1,422,000円
累計のニコニコB	6,500円

今年度は5月末で34件の補助金申請が提出され、あともう少し増え、6月13日に最終の審査会が行われます。吹田西RCも、人道的国際奉仕でタイ東北部ノンパノム県の学校に冷却付き浄化装置を設置するクリーンウォータープロジェクトという内容で308,000円の補助金の承認が一番乗りで下りています。

4月13日には、2019-20年度ののための地区研修・協議会が大阪国際会議場で開催されました。第2部の部門別協議では、ロータリー財団部門のコーナーで資金管理小委員会次年度委員長ということで、15分の発表をさせて頂きました。各クラブの次年度財団委員の皆様へ財団補助金についての説明を行ってきました。資金管理小委員会では、各クラブから提出された報告書の最終承認をする役目となります。報告書は一件ずつガバナー事務所からメールで送られてきますが、提出の時期になりますと大量のメールが送られてきます。

2019-20年度の補助金のプロジェクト内容をご紹介しますと、吹田RCは人道的国際奉仕として、カンボジアで入院中の子どもに安全に医療を届けるプロジェクト。吹田江坂RCは社会奉仕吹田市にある児童養護施設「松柏学園学習」にパソコン、デスクを寄贈するプロジェクト。

各地区の補助金申請を見ていますと、今年度も本当に様々な事業の予定がされており今一度、ロータリークラブが日本の社会や世界の各地域に対し様々な形で奉仕していることを実感致します。

次年度は一人160ドルが目標となっています。今後も財団への寄付金の方、宜しくお願いします。

地区国際奉仕委員会 木下 基司 委員

本年度年頭より、山本博史ガバナーのロータリーに対する情熱は気迫あふれるもので、地区出向2年目得要領は得てませんでしたが、毎回委員会へ出席される山本ガバナーの姿勢にはただただ仰天するばかりでした。

地区国際奉仕委員会の委員長の任期は木田会員が委員長退任後、3年制となりました。現在、大阪東淀ちゃやまちRCの前田要之助さんが2年目の委員長をお務めになられております。また、副委員長をされておられます、我がクラブとチャーターナイトが同日の

大阪リバーサイドRCの柿本円さんは今年度代表幹事団に名を連ねておられ、宮里唯子委員長の腹心としての功績が実り、再来年度第5組のガバナー補佐として若干40歳で女性ガバナー補佐を拝命されることとなりました。

主な活動は今年度から年一回の開催となったクラブ国際奉仕委員長会議の開催（2018年7月28日）と地区ロータリー財団 補助金管理セミナーの開催です。（2019年2月16日）このセミナーは地区財団委員会と地区社会奉仕委員会の合同開催でした。

また、昨年12月開催の地区大会では「友愛の広場」で（日本国際飢餓対策機構）ハンガーゼロさんを推薦出展させて頂き、活動内容の紹介をして頂きました。因みに来年度2019-20年度は、7月27日に大阪社会福祉指導センターで開催されるクラブ社会奉仕・国際奉仕合同委員長会議においても近藤高史総主事にご講演頂く予定です。また、本年2月にはロータリー特別月間 平和と紛争予防／紛争解決月間にあたり、大阪城東RCと大阪淀川RC、大阪大淀RCの3クラブへハンガーゼロさんの卓話で地区委員会として参加させて頂いております。

また、同時期に木下個人と致しましては大阪城南RCと大阪堂島RCへ「国際奉仕について」という内容で卓話をさせて頂き誠に良きお勉強をさせて頂きました。

更に、今年度は山本ガバナーの指示によって最重要課題となっていたのが、先週ドイツ国ハンブルクで開催されました国際大会開会式前夜の「大阪ナイト」の大阪南RCとの共催です。私は参加出来ませんでした。前田委員長は出発の前々日までガバナーからの無茶振りに右往左往されていたので、今回の委員会時の土産話が楽しみです。

来年度は副委員長を拝命しており、出来る限り尽力したいと考えております。

尚、今後の国際大会の日程をお伝えしておきます。

2020年 ホノルル 6月6日～6月10日

大阪ナイトは6月7日

2021年 台北 6月12日～6月16日

2022年 ヒューストン（米国テキサス州） 6月4日～6月8日



各奉仕委員会 一年間の総括 国際奉仕委員会 坂本 一成 理事

今年度の報告をさせていただきます。

まずはクリーンウォータープロジェクトの代表団にご参加頂きましたメンバーの皆様に改めてお礼申し上げます。橋本徹也エレクト、小林パスト会長、青木パスト会長、榎原幹事、木田会員、木下会員、橋本芳信会員、佐藤会員、仁科会員ありがとうございました。

特に小林パスト会長には事前打ち合わせから前乗りで打ち合わせ現地のいろいろの手配等本当にお世話になりました。

私は、入会させて頂いてまだ4年目でしたので国際奉仕がどんなもので何をするのかというのあまりわからず、タイにCWPで毎年行っているというのは知っていましたがCWP自体の内容もナコンパノムの正確な位置すら知りませんでした。そんな中、国際奉仕担当理事を拝命したものですから皆様のご協力なしでは全くできていなかったと思います。

昨日、昨年7月に委員長挨拶の原稿を読み返しておったのですが、何もわからずあんなことをよく喋っていたなあと思心しました。

12月のナコンパノム訪問報告の時にもしゃべりましたが実際行ってみますと5日間行程は非常にタイトで現地の協力なしには絶対あり得ないもだと今でも思っております。

改めて現地のPAT提督こと、Kiatisak元提督と海軍の皆さん、現地でそれをコーディネートして頂いているMis. Arisara、アイちゃん存在は非常に大きいと感じております。

次年度も11月20日から24日まで代表団が派遣されるようですので多くの方が経験済みとは思いますが是非とも1度参加してみてください。

あの海軍の車がサイレンを鳴らしながらこちらの車の進路を確保していく様は一見の価値あります。

そしてこのCWPの最大の醍醐味はやはり浄水器を設置した小学校の子供たちの笑顔です。

昨年も2校に設置したわけですが両校とも300人ほ

どの児童たちがいまして歓迎のダンスを2校ともしてくれました。

かなり練習もしてくれているんだというのが観るとよくわかります。

お菓子や歯ブラシを配ってあげたときの笑顔はやってよかったまた来年もできればやろうと思わせてくれます。

そして現地のナコンパノムRCのメンバーのホスピタリティ溢れるおもてなしです。

現地滞在の3日間全員ではもちろんないですがとっかえひっかえアテンドをしてくれて何かと世話を焼いてくれます。

親切心が行き過ぎてもういいよってこともありますけどね。木下さん。

とにかく、この事業はできる限り続けていくべき事業だと参加したらわかります。

3月1日付でRI第2660地区ガバナー事務所を通じてロータリー財団のほうへ申請させてもらいましたが、私の不徳の致すところと申しますか、昨年この場で皆様をお願い申しあげました1人\$160ずつの寄付が集まりきらなかったために今年度頂けたUS\$2,783は頂けなくなってしまいました。

次年度は何卒、1人、\$160の財団への寄付をお願い致します。

最後に、RI第2660地区ガバナー事務所向けのプロジェクトの報告についてですが、毎年、チェックのポイントが違って来るようですので、次年度の西村委員長はよろしくお願い致します。

私は昨年度の佐藤委員長の報告書を踏襲して送らせて頂いたつもりなのですが、非常に細かく指示を頂きました。

ガバナー事務局の方と電話でのやり取りも何度もさせて頂きましたのでいつかは地区へも出向してみたいなと思えるようになりました。

次年度は40周年記念事業としてこのCWPを行う予定ですので亥鳥ども多くの方のご参加をお願い致しまして国際奉仕担当理事の年度報告とさせていただきます。

ありがとうございました。